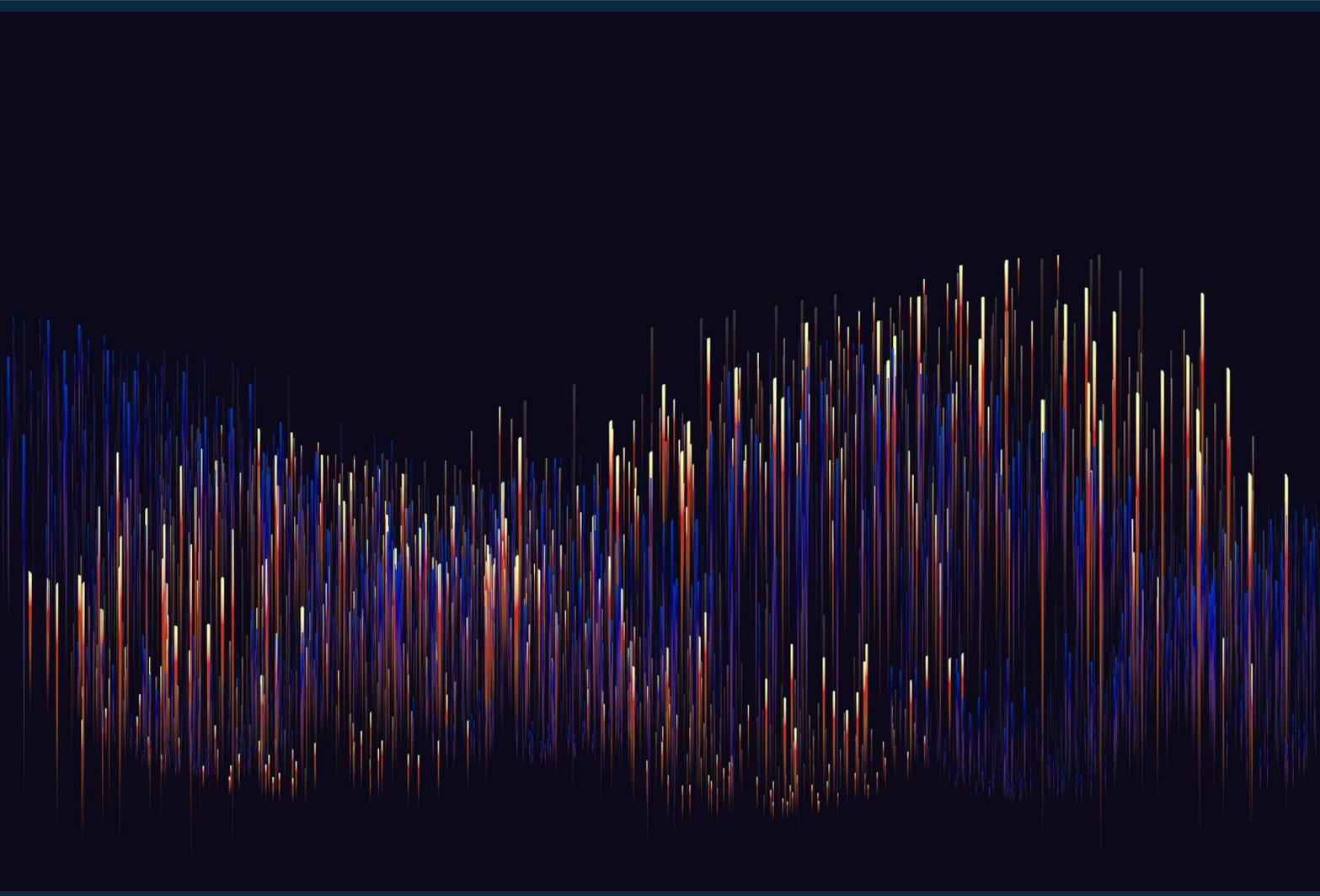


コンペ班
草柳 紗大



繋がりを招く家 ～光を共有する～

図面と模型製作

コンペ概要

日本大学 招く家

招くものを人や光など自由に発想し、現代社会の家のあり方を考え創造するコンペティションです。

昔の日本の家には客間など客人を迎えるための空間がありました。それによって地域全体がコミュニティの形成や防犯向上に貢献していました。

現代ではセキュリティやプライバシーを重視される一方、地域とのつながりが薄れつつあります。

「招く家」という視点から新しい家の形について考えます

プライバシーの変化

昔



- ・ 個人の行動や事情を共有
- ・ 技術的に情報の広まりに限りがある
- ・ 概念が曖昧



今



- ・ SNSに普及で情報の広まりに限りがなくなる
- ・ 価値観の変化で「他人に干渉しない」が当たり前になりつつある

ここまですら

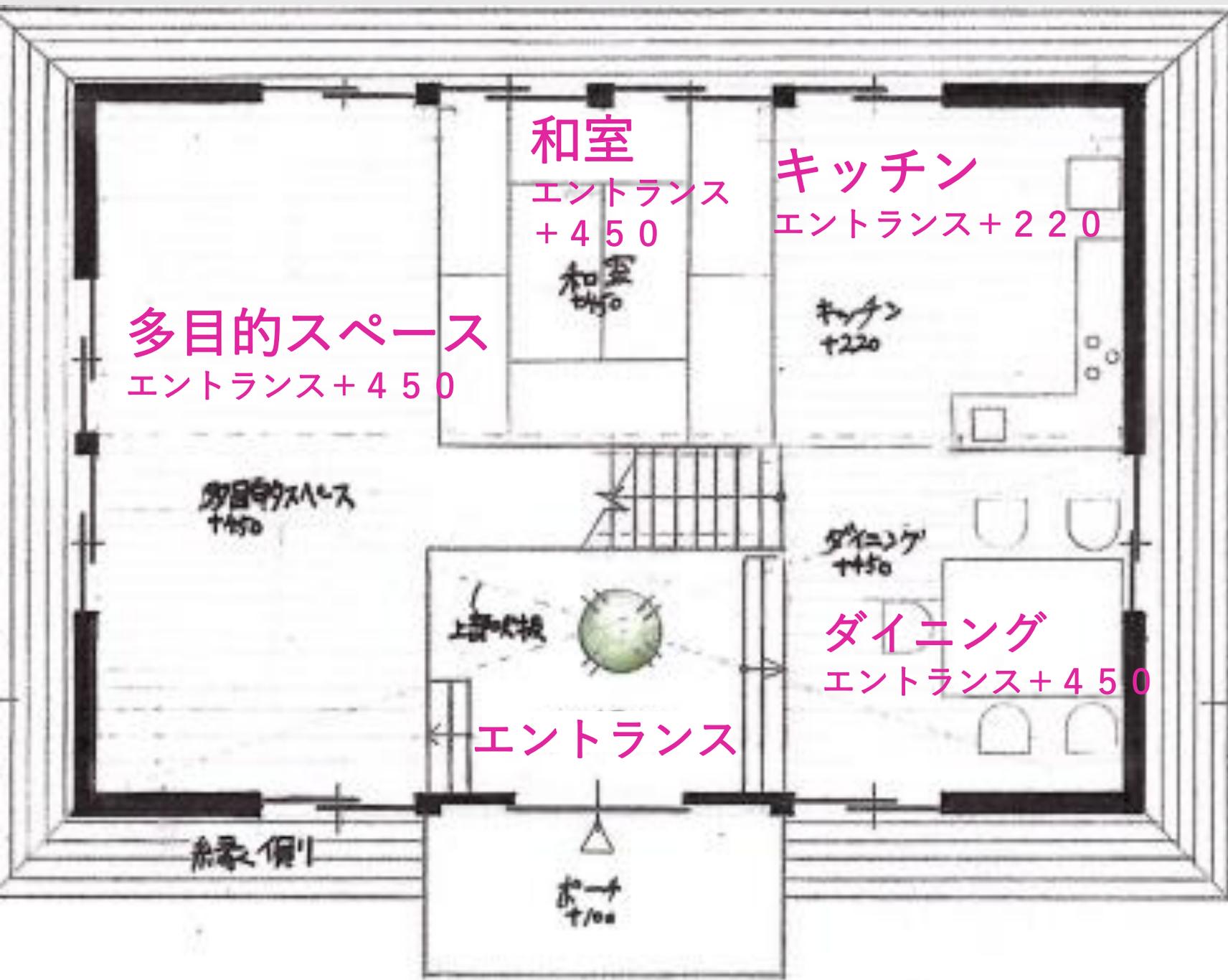
SNSの普及による他人との関わり方の薄さを補い、地域住民との直接的な交流を促進するコミュニティの発展場を計画をしました。

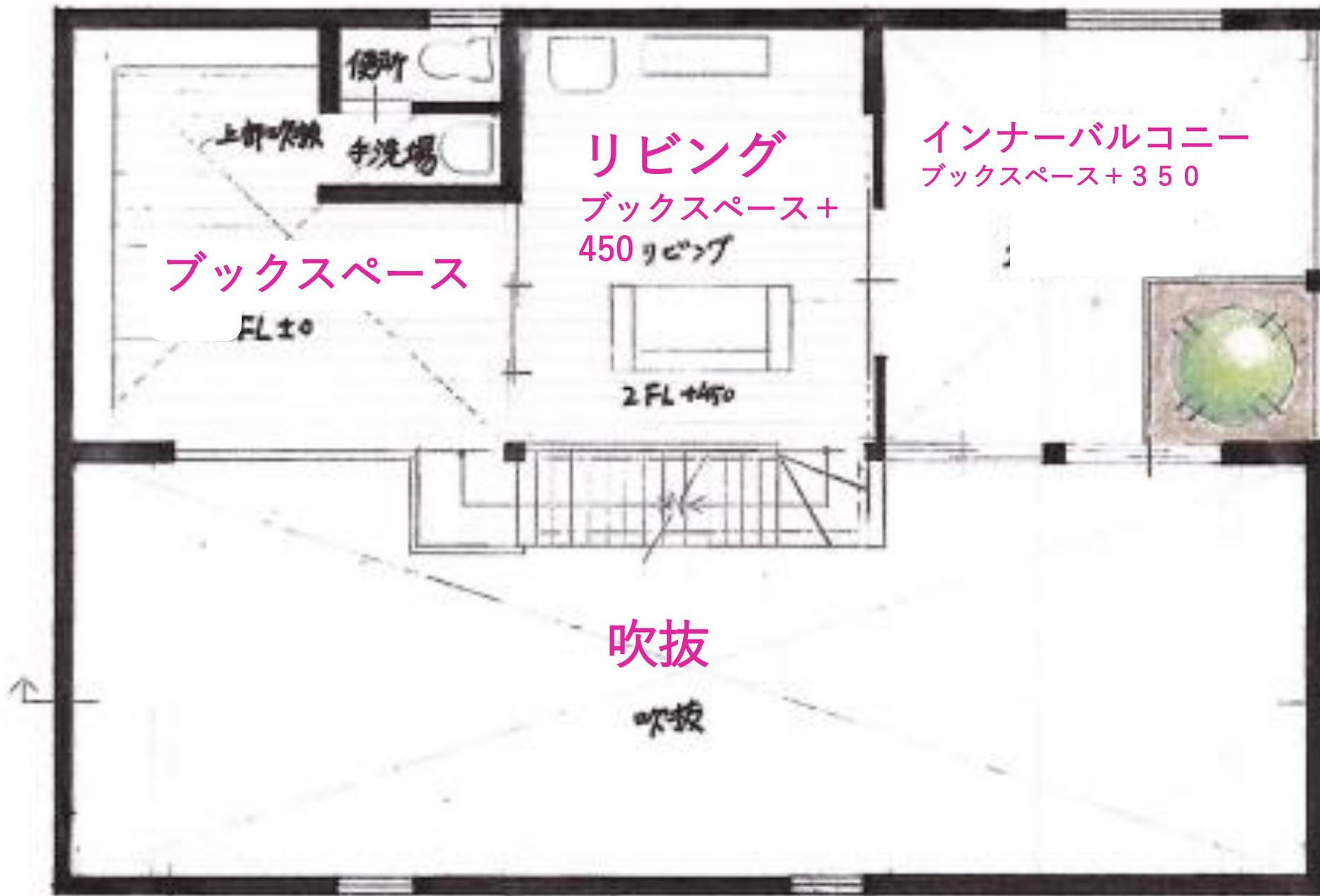
- ・ SNSの遠距離の関わり方ではなく、現実でリアルに関わりう交流の場を設計した。
- ・ 近隣住民を招き、趣味などを共有できる空間を作る。



1階

- ・スキップフロアによって壁少なくする
- ・多目的スペースを設け、地域の方々にレクリエーションや講座をおこなうことができる





2階

- ・ 2階の一部まで地域住民に開放する
- ・ 吹き抜けのを大きくとる



作業順番

スタディ模型 (1/100)の製作



壁角度を出すための実寸模型 (1 / 5 0)



住宅の製作

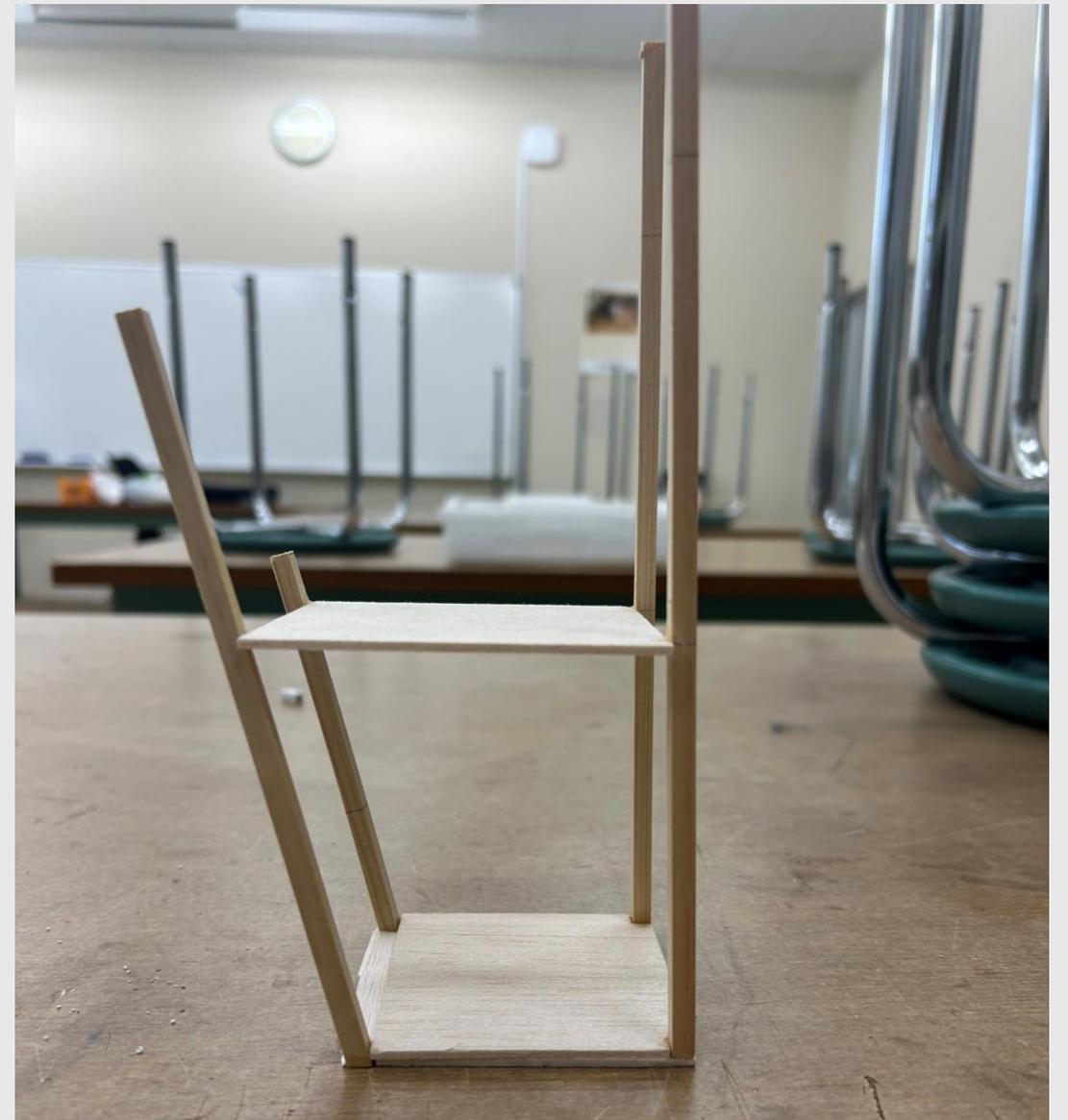
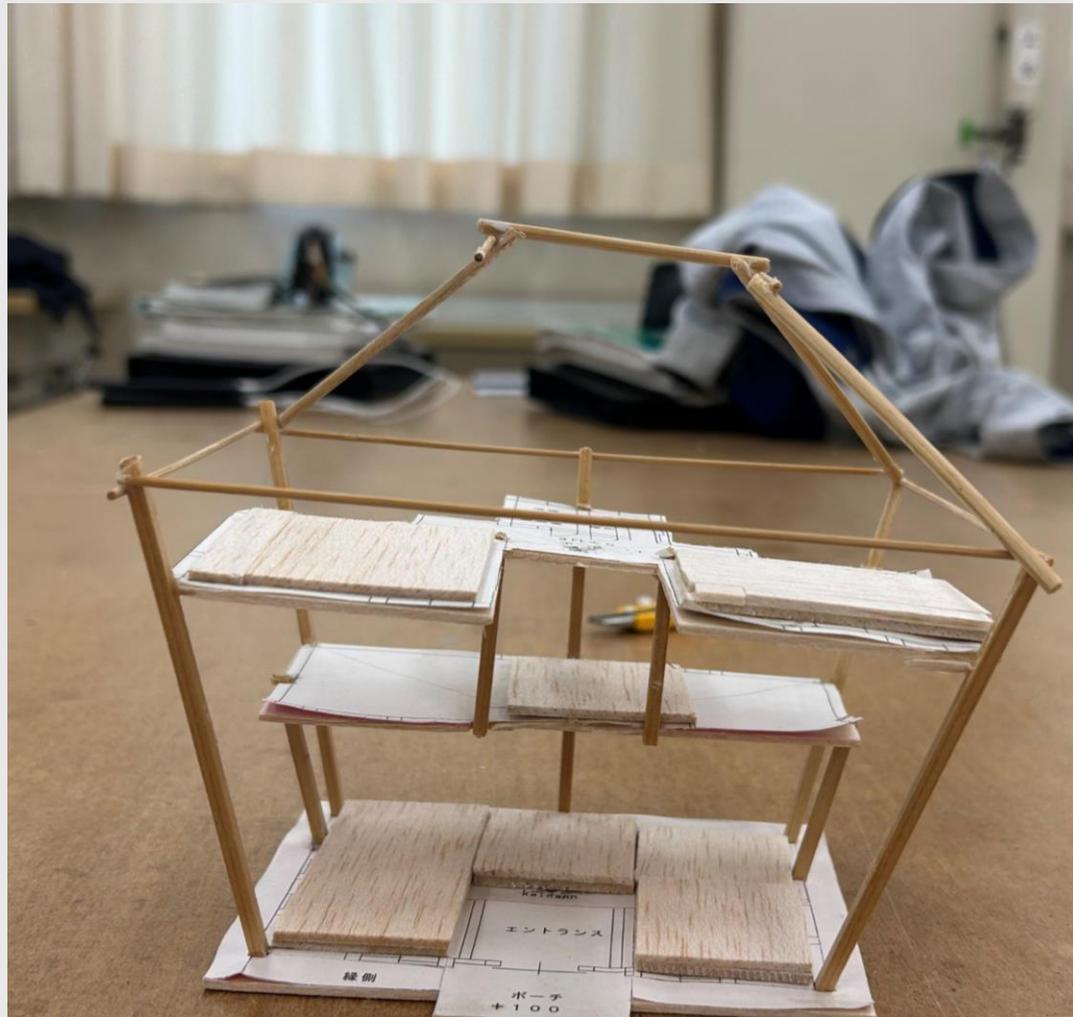


敷地・周辺環境・土台の製作



完成1/50

スタディ模型

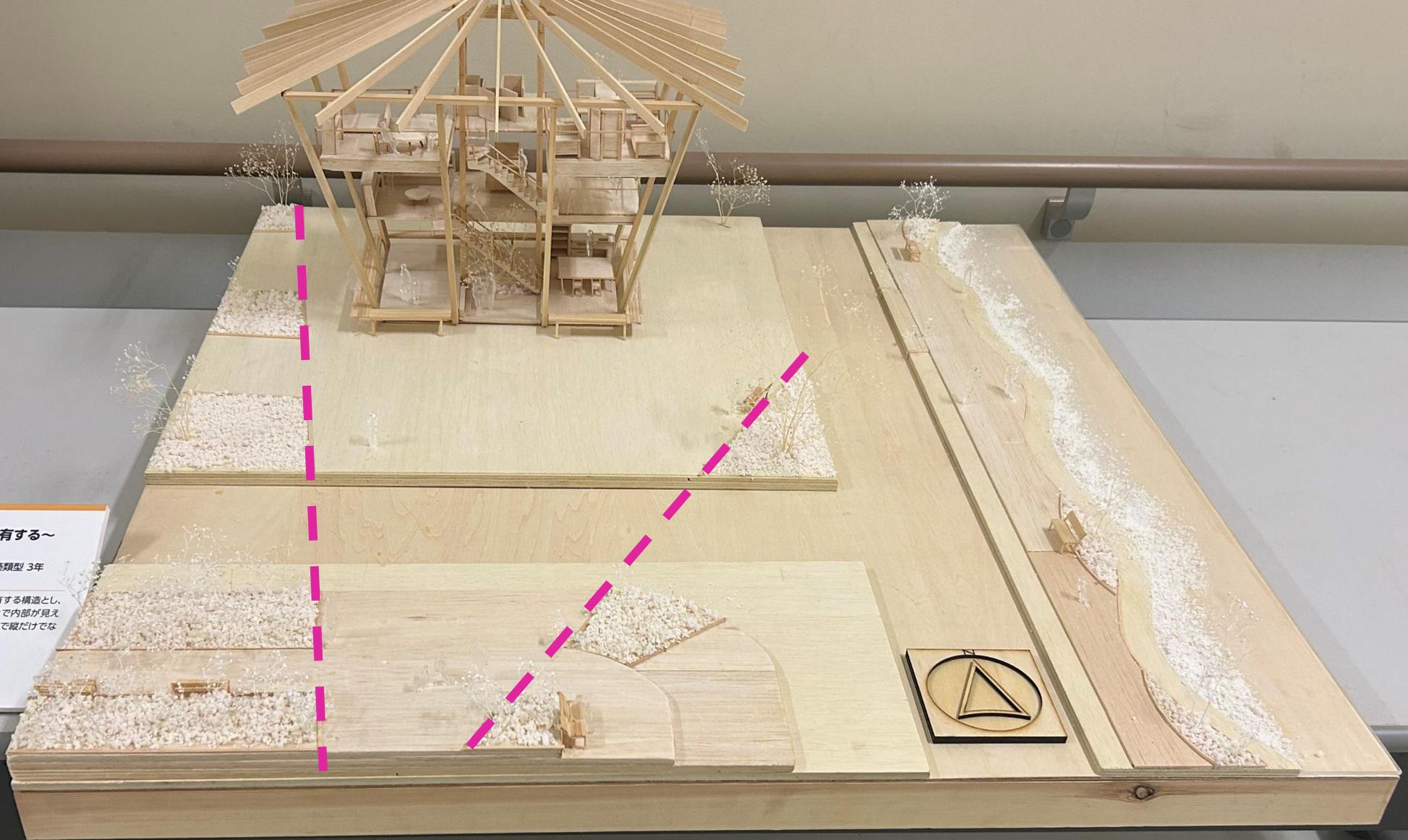


A-15 繋がり招く家 ～光を共有する～

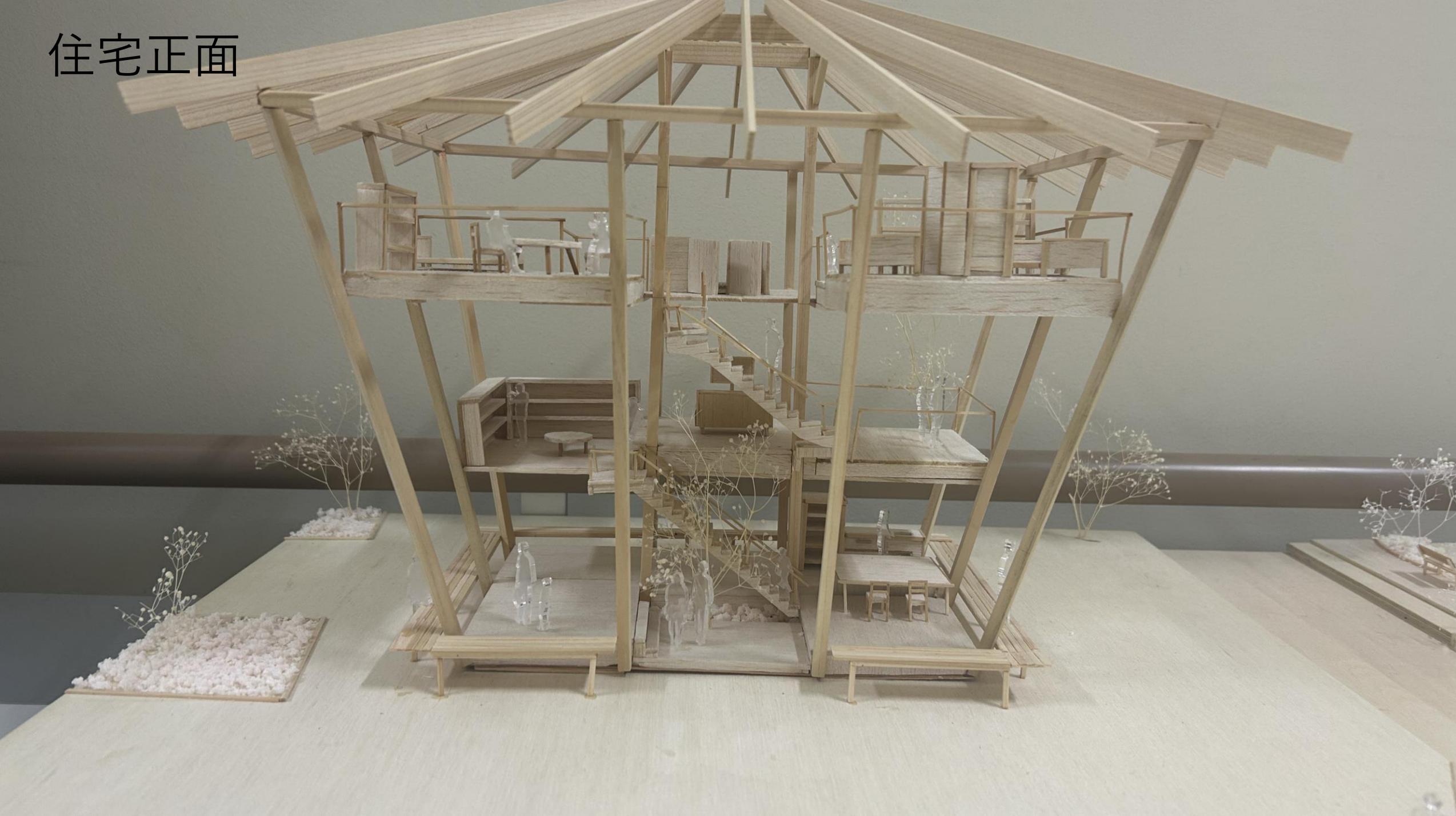
模型

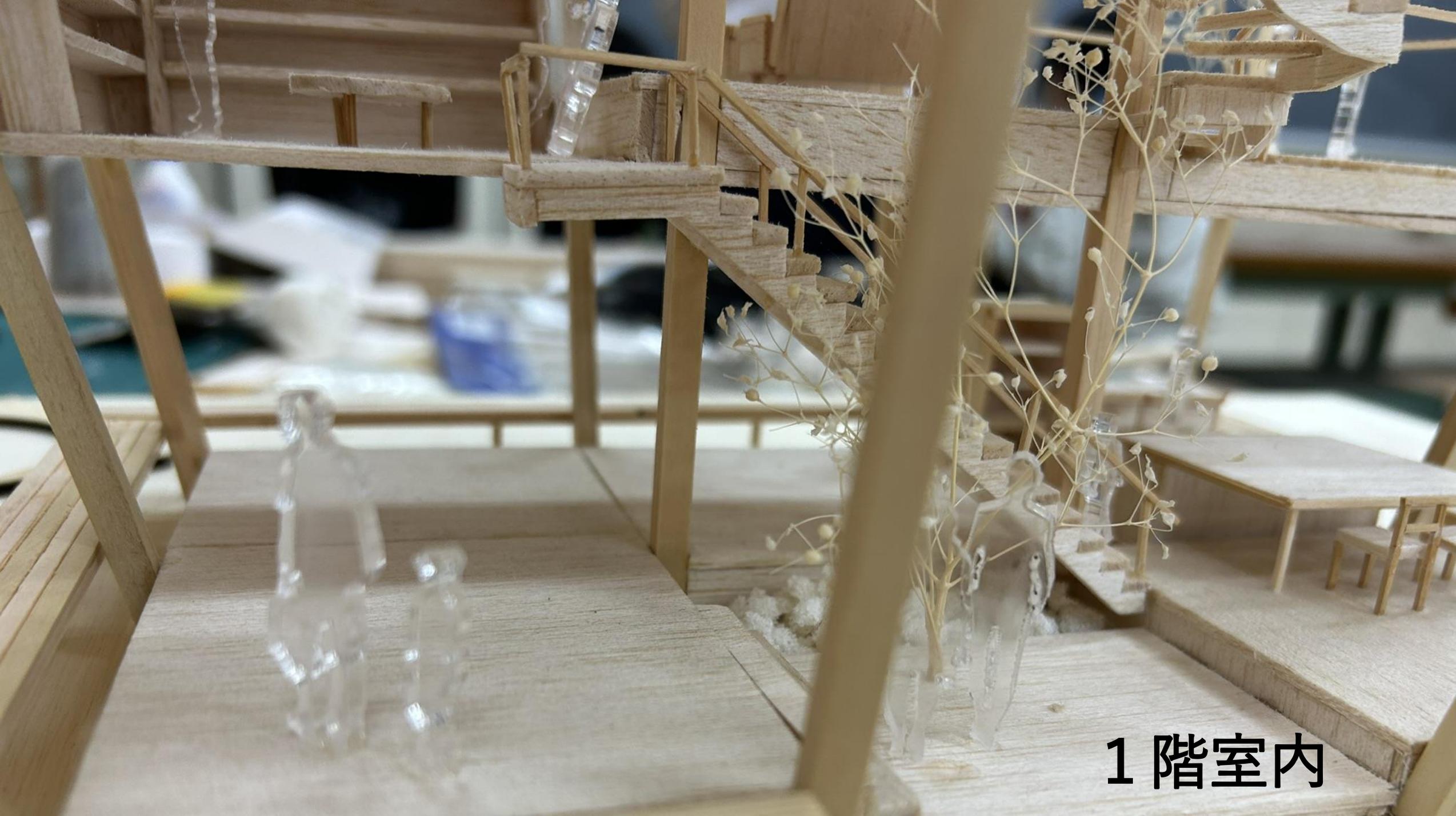
都立総合工科高等学校 建築・都市工学科 建築類型 3年
草柳 紗大

3層吹抜けの住宅を設計した。天窓からの光を共有する構造とし、材料にはバルサ材を用いて、床だけを表現することで内部が見える模型を作成した。中央と周囲に吹抜けを設けることで縦だけでなく横の繋がりを感じられるようにした。

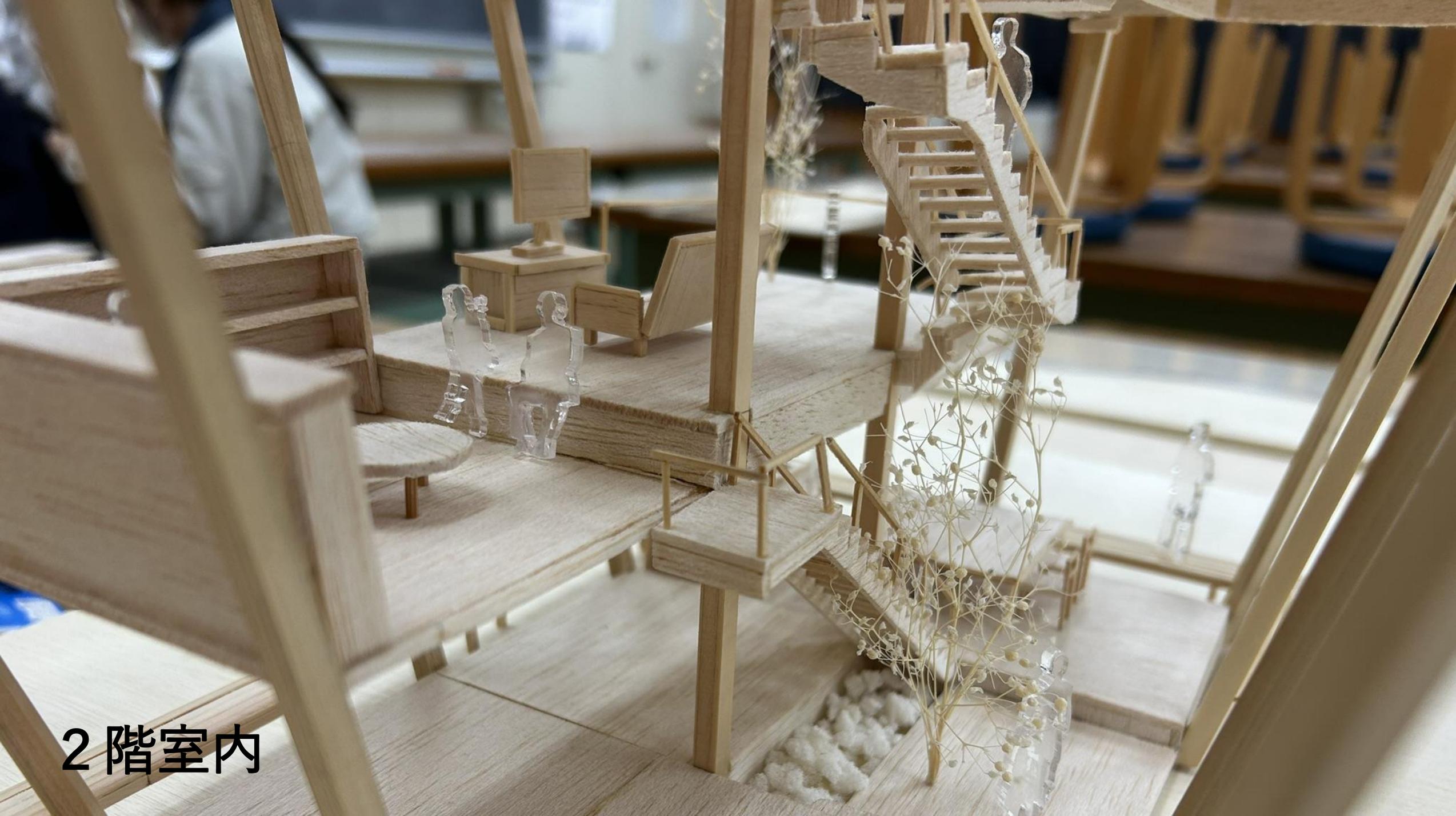


住宅正面



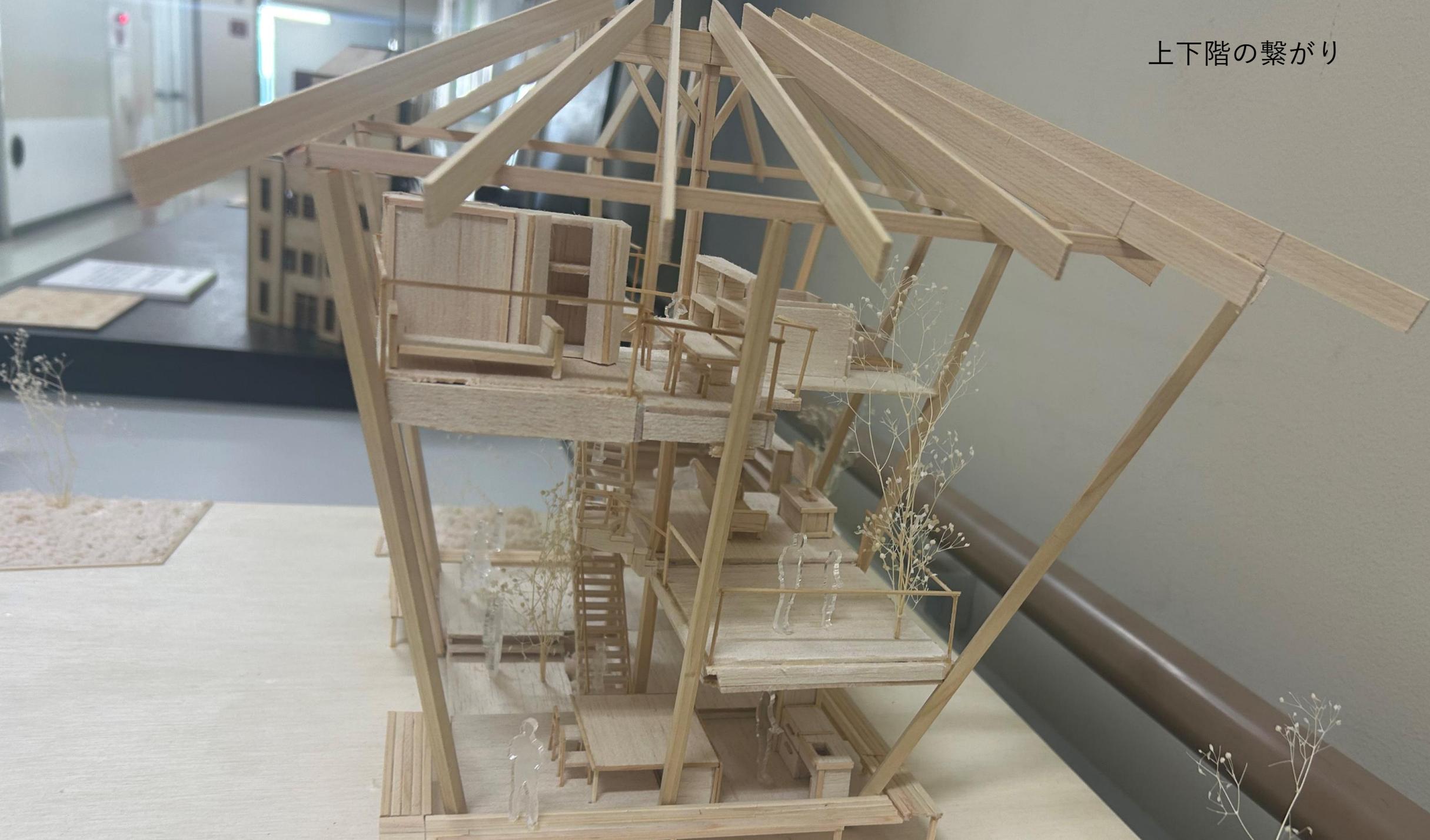


1階室内



2階室内

上下階の繋がり



公園



海

